

リニューアル改修のポイント

1. 老朽化対策

- ① 電気・機械・衛生設備等の更新 → 長寿命化、作品保存機能の維持、運営効率の維持向上
- ② 外構・屋上防水等の劣化箇所修繕 → 耐久性向上、施設機能の維持、美観の維持向上

2. 社会状況やニーズの変化への対応

① 現講堂をキッズ・スタジオ（仮称）、新県民ギャラリーへ用途変更します

- キッズ・スタジオ（仮称）は、素材体験や造形遊びなどの美術体験ができるスペースで、現在の造形遊戯室の機能を併設するほか、学校等の団体を対象としたオリエンテーション等を行うスペースとしても多目的に活用します。
- 新県民ギャラリーは、個人や少人数のグループ等による作品の展示会に対応します。（ギャラリー機能は新県民会館にも整備予定）
→ 創作・教育活動の充実、子ども・保護者等の美術体験活動の促進、県民の創作活動発表の場の確保（子どもたちの豊かな体験を創出する美術館、ともに築きあう美術館）

② 現図書室、現映像室を情報・交流ラウンジ（仮称）へ用途変更します

- 情報・交流ラウンジ（仮称）は、自由に滞在でき、美術と美術館に関わる様々な情報に触れることができるスペースで、映像放映やレクチャーを行うスペースも併設します。
→ 誰もが憩い、学び、交流する機能の向上（人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館）

③ 現県民ギャラリーを新展示室、新収蔵庫へ用途変更し、「見える収蔵庫」を設置します

- 絵本原画等を収蔵した状態で展示できる常設収蔵展示室を設置します。
- 既存展示室も、壁紙・照明等の更新により機能性の向上を図ります。
→ 魅力的な展示の実現、安全な収蔵環境の拡充（国内外の人々が魅了される美術館）

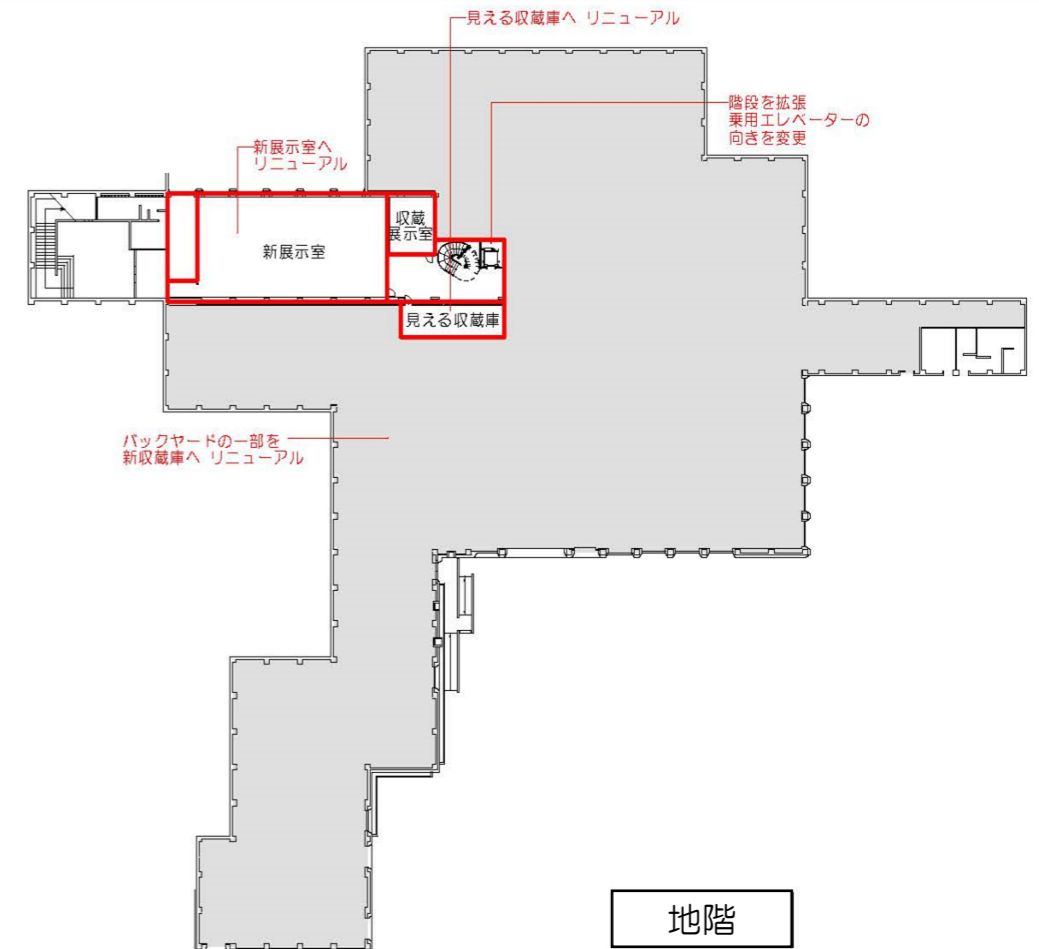
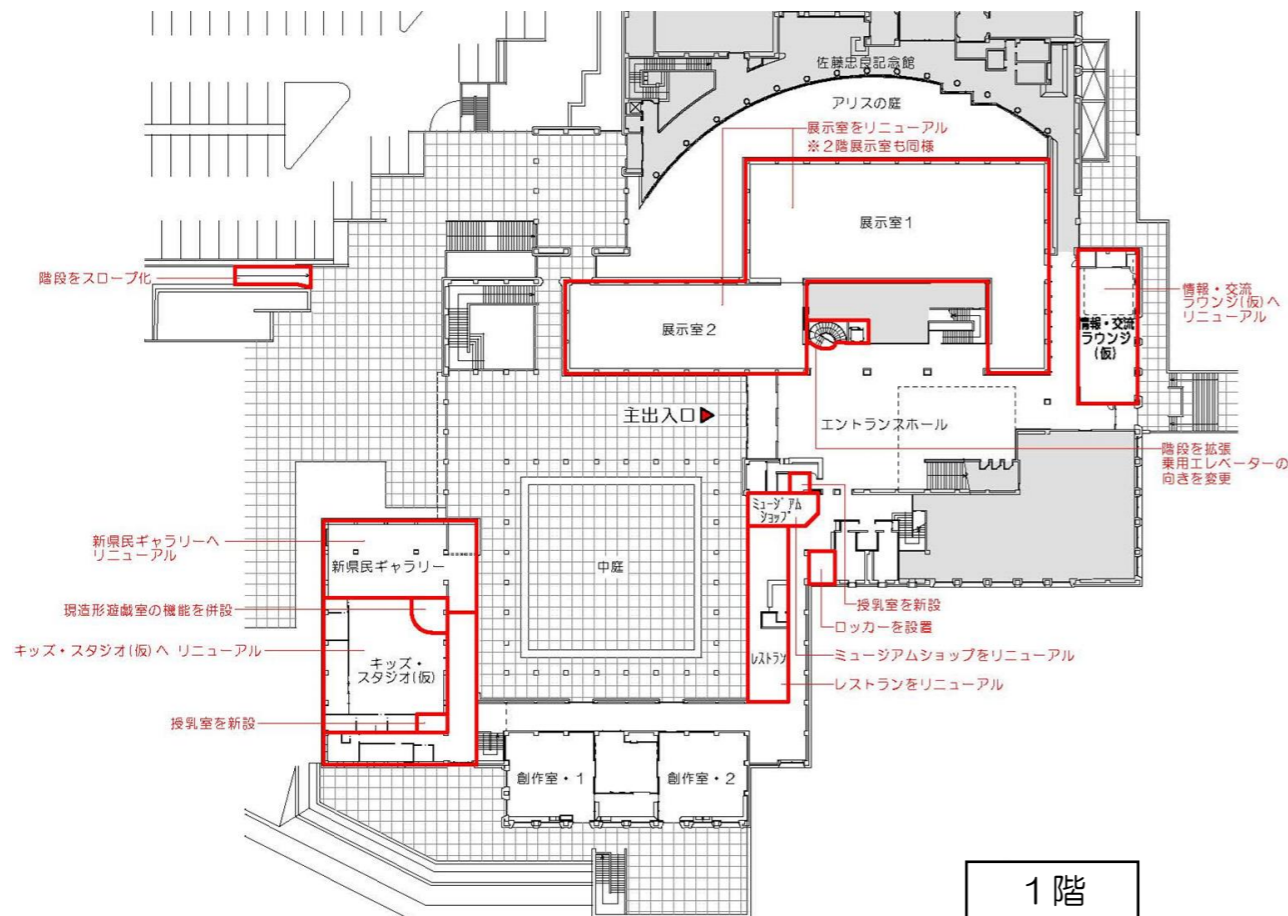
④ レストラン、ミュージアムショップの拡充、トイレ設備更新、授乳室新設等を実施します

- 美術館の魅力向上、バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化（人々が憩い、くつろぎ、集い、つながる美術館）

主要室の改修概要

階	旧室名	新室名（仮称）	面積	新室機能概要等
地階	県民ギャラリー 他	新展示室	約290㎡	常設展や企画展で使用できる展示室
		常設収蔵展示室	約40㎡	絵本原画等を収蔵した状態で展示できる展示室
		見える収蔵庫	約50㎡	絵画等を収蔵状態で鑑賞できる新しい収蔵庫
		共用スペース （廊下、階段含む）	約50㎡	見える収蔵庫の閲覧スペース等
		新収蔵庫	約290㎡	収納性と機能性に優れた収蔵庫
1階	講堂	キッズ・スタジオ （現造形遊戯室機能を含む）	約290㎡	子どもの創作活動を中心に団体活動等にも利用できるスペース。授乳室を新設
		新県民ギャラリー	約190㎡	県民の創作活動の発表の場となるギャラリー
	レストラン	レストラン、ミュージアムショップ	約180㎡	レストラン、ミュージアムショップを拡充。授乳室を新設
	造形遊戯室			
	図書室	情報・交流ラウンジ	約160㎡	来館者が美術情報に触れ、くつろげるオープンスペース（レクチャーに使用できるスペースを併設）
映像室				

リニューアル後の平面計画



□改修の目的

昭和56年（1981年）に開館した美術館の本館は、各施設及び設備の老朽化や狭隘化が進行するとともに、求められる役割も多様化し、新たな機能がこれまで以上に求められていることから、「宮城県美術館リニューアル基本構想」（平成29年3月）、「宮城県美術館リニューアル基本方針」（平成30年3月）及び「宮城県美術館リニューアルの進め方」（令和3年1月）を踏まえて改修を行います。

□改修の概要 ※透視図は現段階でのイメージです。

1. 老朽化対策

【電気・機械・衛生設備等の更新】

メンテナンスは常に行われていますが、40年以上使用している設備機器も多く、点検時や故障時に、交換する部品の調達等も困難になりつつあり、「宮城県美術館リニューアル基本方針」において改修項目を整理してから現在に至るまでにも、新たな不具合が発生しているため、改めて全館の確認を行い、今回更新する設備を選定しました。

- ・電気設備では、受変電設備や電灯設備等の必要な更新・改修等を行います。
- ・照明については、全館のLED化を図ります。
- ・機械・衛生設備では、空調設備、換気設備、給排水設備等の必要な更新・改修等を行います。
- ・トイレについては、子どもから高齢者まで利用しやすい操作性、節水性の高い衛生器具に更新します。
- ・館内に新たにWi-Fi環境を整えます。

【外構・屋上防水等の劣化箇所修繕】

常に風雨にさらされている建物外部についても劣化が進んでいるため、修繕する必要があります。

- ・中庭や前庭などの床タイルは凍害等による割れやはがれがあるため、劣化箇所の貼り替えを行います。
- ・創作室テラスのモルタル床の改修を行います。
- ・第1駐車場のコンクリート製塀のタイル等修繕を行います。
- ・西側通路の路盤改修、県民ギャラリーへの搬出入用スロープを設置します。
- ・北庭の池にある送水ポンプの更新を行います。
- ・屋上防水については、2階屋上はすでに改修が行われていますが、1階屋上は竣工当時のままの状態、この部分は展示室の上部も含まれるため、全面改修します。
- ・その他、外部手摺・中庭の柱の再塗装、本館外壁の洗浄、雨どいの改修などを行います。

外観(中庭)



2. 社会状況やニーズの変化への対応

【キッズ・スタジオ（仮称）】

子どもが鑑賞、素材体験、造形遊びなどの美術体験ができるスペースです。また、学校等の団体を対象としたオリエンテーションの実施など、多目的に活用することができます。

- ・キッズ・スタジオ（仮称）内には作品をやや高い所から鑑賞することができるキャットウォークを設置します。キャットウォークの下のスペースは収納として活用します。
- ・大きな作品を吊り下げて作ったり、鑑賞したりすることのできる吊りバトンを設置します。
- ・素材や道具の保管、室内を有効利用するために机や椅子などを収納する倉庫を配置します。
- ・現在の造形遊戯室の機能をキッズ・スタジオ（仮称）内に設置します。造形遊戯室では、絵本を読んだり、積み木で遊ぶことができます。安全上、各部分は丸みを帯びたディティール、やわらかい素材にします。
- ・キッズ・スタジオ(仮称)前の廊下部分は既存の壁を撤去し、なるべく外の光を届けられるようにします。死角を少なくすることによって、安全性を向上させるとともに、メインアプローチやレストランからもキッズ・スタジオ(仮称)の活動がより感じられるようになります。
- ・更衣室、手洗い場、授乳室、バリアフリートイレを新設し、利用者の利便性を向上させます。

キッズ・スタジオ(仮称)



【新県民ギャラリー】

個人やグループ等による作品の展覧会に利用できます。

- ・会場のレイアウトが容易に変更できるよう可動展示パネルを設置します。
- ・可動展示パネルを使って控室や梱包材の保管場所等を設けることもできるようにするなど、利便性を向上させます。
- ・最新の照明や、作品の発表に使いやすい展示設備（ワイヤー・フック・ローリングタワーなど）を備えます。

県民ギャラリー



【情報・交流ラウンジ（仮称）】

北庭に面した眺めのよい立地を生かし、開放的なくつろぎの空間を創出します。

誰もが自由に滞在でき、美術と美術館に関わる様々な情報に触れることができます。

映像放映やレクチャーを行うスペースもラウンジの西側に併設します。

- ・美術書や美術雑誌のほかタブレット等の情報端末を設置します。
- ・本棚や読書用の机、ソファ、椅子等の備品を設置します。
- ・レクチャーや映像視聴時には、ラウンジスペースとレクチャースペースを間仕切することもできます。
- ・椅子等を収納する倉庫を隣接して設置します。

情報・交流ラウンジ（仮称）



【新展示室】

新展示室は、特別展示や常設展示等、その都度様々な展示に対応できるようにします。

- ・新展示室の壁面ガラス展示ケースは、低反射合わせガラスにします。
- ・壁は、ガラスクロスに塗装する仕様にします。
- ・常設収蔵展示室では絵本原画等を収蔵展示することができます。

【新収蔵庫】

収蔵品の安全管理と今後の収集活動のため、収蔵庫の拡充を行います。

調湿性能のある壁材を使用するなど、収蔵に適した環境を作ります。

【見える収蔵庫】

来館者は、いつでも・だれでも作品が収蔵されている状態を見ることができます。

- ・絵を絵画ラックに掛けて収蔵している状態を鑑賞できます。

見える収蔵庫



【レストラン、ショップ】

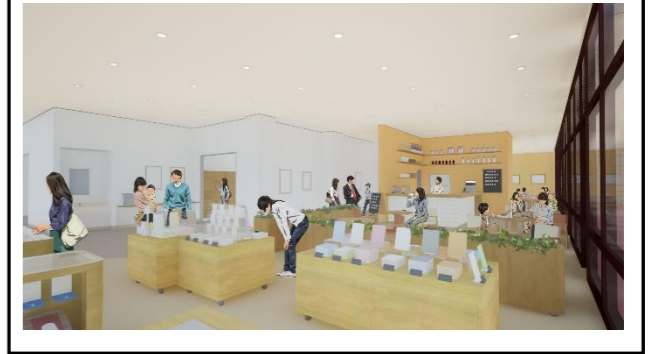
レストランは、現造形遊戯室の部分をレストランの一部に改修し面積を拡充します。

ショップは、中庭側へ移動し、既存より広いスペースとします。

レストラン、ショップともに多くの人が楽しめる魅力ある空間づくりを行います。

- ・レストランの一部設備機器等を更新します。
- ・ショップの壁面には、背の高い商品棚を設置します。
- ・レストラン、ショップの近くに授乳室やロッカーを設置します。

レストラン、ショップ



3. その他

【乗用エレベーター・階段】

現在はエントランスホールから視認しづらい位置に乗り降り口があるため向きを変更します。

大きさも11人乗りから15人乗りに更新します。

- ・1階と地階を結ぶ階段も、現在より利用しやすく、開放的な階段に改修します。

【サイン】

本館、佐藤忠良記念館及び屋外のサインは、誰もが認識しやすく、デザインの調和がとれた新しいサインに更新します。

□リニューアル後の新事業

- ・キッズ・スタジオ（仮称）では、鑑賞、素材体験、造形遊びなどの各種プログラム等を行います。
- ・情報・交流ラウンジ（仮称）では、情報端末により、所蔵品データや所蔵品の高精細画像を鑑賞できるようにします。また、プロジェクターやスクリーン等を使用し、解説等の実施や展覧会関連動画の上映、アートホールで開催されている講演会のサテライト上映等を行います。
- ・見える収蔵庫では、美術館の役割を学んだり、新たな美術体験が可能なプログラムを実施します。

□工事スケジュール

※現時点での想定であり、工事の進捗等により、変更となる場合があります。

令和5年度		令和6年度	令和7年度
6月	10月上旬	改修工事	開館準備
工事発注期間			

リニューアルオープン